

1月8日(金曜日)

ドル/円

## 期待の高い米雇用統計を待つ構え

### 7日(木)の主な推移

NYダウ平均

10606.86ドル  
(+33.18ドル)

米長期金利  
(10年債利回り)

3.8294%  
(+0.0040%)

NY原油先物

82.66ドル  
(-0.52ドル)

チャート: 30分足 7日(木)朝7時 ~ 8日(金)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

- ① 豪州の経済指標が市場予想を上回ったことで、豪ドル/円で豪ドル高・円安が進行すると、ドル/円でもやや円売り優勢となり、前日の高値92.43円を更新。92.45円の高値をつけた。しかし、米雇用統計を翌日に控えて手控え感も強く、ドル/円はその後ジリ安となった。中国で3カ月物手形入札の利回りを引き上げたことで、「中国で金融引き締め開始」との見方から一旦豪ドルに対して円が上昇したことも、ドル/円での円買い要因の1つとなった。
- ② この日に就任した菅財務相が就任会見にて「経済界からみれば、(1ドル)90円台半ば辺りが貿易関係で適切との見方が多い」「もっと円安に進めばいいと思う」などと発言したことを受け、円が急落。ドル/円は昨年9月1日以来4カ月以上ぶりの円安水準である93.41円を付けた。
- ③ 1月3日までの週の米新規失業保険申請件数は43万4000件と、前回(43万2000件)よりは増加したものの、市場予想(44万件)よりは強い結果となった。しかし、この結果に対する相場の反応は限定的なものに留まった。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国の経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本政府による市場介入への警戒感
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 91.70-94.50円

本日は22時30分に発表される米12月雇用統計を睨んでの展開となろう。

今週すでに発表された12月ADP全国雇用者数が市場予想こそ下回ったものの、前月から大幅に改善した上、新規失業保険申請件数も減少基調にあることから、足元では「雇用統計の結果はかなりよいものになるのでは」との期待が高まっており、非農業部門雇用者数の市場予想平均は今朝時点で±0.0万人と上方修正された(週初時点では「1万人の減少」予想)。

こうした中では、実際には市場予想平均よりも高い数値を希望する向きも多く、米雇用統計への期待値の高さから「結果が良かった場合のドル買い」へのハードルはかなり上がっている。ドル/円の場合は日本の3連休前ということもあり、上値は限られる可能性がある。逆に、予想を下回った場合は、失望感から急激に円が買い戻される公算が大きいとみる。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/8(金)	22:30	◎	(米) 12月失業率	10.0%	10.0%
	22:30	◎	(米) 12月非農業部門雇用者数	-1.1万人	±0.0万人

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com